

人文学部法律経済学科 カリキュラム・マップ

1年次		2年次		3年次	4年次
前期	後期	前期	後期		
地域から考える文化と社会	専門PBLセミナーA	専門PBLセミナーB	指導教員・所属プログラムの決定	専門演習 政治学原論演習、行政学演習、政治思想史演習、地方自治論演習、憲法演習、国際関係論演習、行政法演習、民法（家族法）演習、民法（財産法）演習、刑法演習、刑事訴訟法演習、法哲学演習、会社法演習、労働法演習、地域経済論演習、国際経済論演習、財政学演習、計量経済学演習、福祉経済論演習、産業経済論総論演習、経済原論演習、経営学総論演習、日本経済史演習、金融論演習、日本経済論演習、人的資源管理論演習、マーケティング論演習	卒業研究
	専門基礎				
	憲法、民法総則、政治学原論、経済原論、経営学総論、近代経済学				

専門科目	
法政コース統治システム履修プログラム	憲法制度論、行政法総論、地方自治論、行政学、政策過程論、日本政治史、政治思想史、国際関係論、国際法総論 等
法政コース生活法システム履修プログラム	法哲学、法思想史、債権総論、物権法、家族法、刑法総論、会社法、商取引法、労働組合法、民事訴訟法、刑事訴訟法、現代裁判論 等
現代経済コース地域経済履修プログラム	マクロ経済学、ミクロ経済学、国際経済論、財政学、地方財政論、地域経済論、地域経済分析、計量経済学、産業経済論総論、福祉経済論 等
現代経済コース企業経営履修プログラム	経済思想史、金融論、国際金融論、日本経済史、日本経済論、経営史、中小企業論、人的資源管理論、マーケティング論、会計学 等

コース区分		到達目標	ディプロマポリシー				
			DP1	DP2	DP3	DP4	DP5
法律 経済 学科	地域から考える文化と社会	学生は現代社会における地域固有の文化や問題について具体例を挙げることができる。 学生は法律・政治・経済・経営の諸分野を学ぶ上で必要な問題意識を持つことができる。	◎				
	専門PBLセミナーA・B	学生は個人または複数で協調して、現代社会の課題について学習した方法で調査することができる。 学生は課題について説得力のある報告ができる。				◎	
	専門基礎	学生は法律・政治・経済・経営の特定の分野に関してその学問の基本を説明することができる。	◎	○	○		
	専門演習	学生は専門基礎および専門科目で習得した知識に基づいて研究テーマを自分で発見することができる。 学生は専門PBLセミナーで習得した調査およびまとめる力を活用して研究を進める上で必要な技術を利用することができる。	◎	○	○	◎	◎
	卒業研究	学生は自ら選んだ現代社会の課題に関する研究テーマについて分析することができる。 学生は分析した内容を卒業論文としてまとめることができる。	◎	◎	◎	◎	◎

ディプロマポリシー

- 1 法律・政治・経済・経営の諸分野において、専門的知識と豊かな教養を身につけている
- 2 現代社会・地域社会について、専門的知識に基づいて論理的に考え、総合的に判断できる
- 3 法律・政治・経済・経営の諸分野を広く学び、学際的視点で問題を探究できる
- 4 現代社会・地域社会の課題に挑戦する積極性を備える
- 5 自ら学んだ知を的確に発信し、国際社会と地域社会の一員という自覚を持ち、その発展に貢献できる